

ごまの恵みを、からだに。



**健康でより豊かな食生活に貢献**



証券コード 2612

**角 かどや 製油株式会社**

**2017年3月期 第2四半期  
決算説明会**

**決算概要について**

**2016年11月1日(火)**

**取締役常務執行役員管理本部長 戸倉 章博**



# 決算概要について

1. 会社概要
2. 2017年3月期第2四半期 決算概要
3. 2017年3月期 事業計画



# 1. 会社概要



# 会社プロフィール(2016年9月30日現在)

◇所在地	本社:東京都品川区
◇創業	1858年(安政5年)
◇設立	1957年(昭和32年)5月2日
◇代表者	取締役社長 小澤 二郎
◇資本金	21億60百万円
◇株主数	6,679名
◇従業員数	288名
◇事業所	本社、工場、 6支店、1営業所、1事業所



## **2. 2017年3月期第2四半期 決算概要**



# 2016年3月期第2四半期

# 決算の概要

(単位：百万円)	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	13,592 <small>ごま油 10,813 食品ごま 2,389 脱脂ごま他 389</small>	<b>14,643</b> <small>ごま油 11,739 食品ごま 2,533 脱脂ごま他 371</small>	1,051 <small>ごま油 925 食品ごま 144 脱脂ごま他 △17</small>	7.7%	<p>&lt;ごま油 売上高増加&gt;            販売数量…積極的な拡売・適正価格での販売により、家庭用は12.0%増加、業務用は7.6%増加。輸出用は23.2%増加し、全体では11.7%増加。            販売価格…家庭用は1.8%増。業務用は3.6%減。輸出用は15.1%減。</p> <p>&lt;食品ごま 売上高増加&gt;            販売数量…前年同期比9.1%増。            販売価格…前年同期比2.8%減。</p>
売上原価	9,515	<b>9,054</b>	△460	△4.8%	原料価格の下落で460百万円減少。
販管費	3,358	<b>3,831</b>	472	14.0%	拡売条件費(約260百万円増加)等の販売経費385百万円増。
営業利益 <利益率>	718 <5.3%>	<b>1,758</b> <12.0%>	1,040	144.8%	
経常利益 <利益率>	1,170 <8.6%>	<b>1,390</b> <9.5%>	219	18.7%	
当期純利益 <利益率>	741 <5.5%>	<b>933</b> <6.4%>	191	25.8%	

【為替】

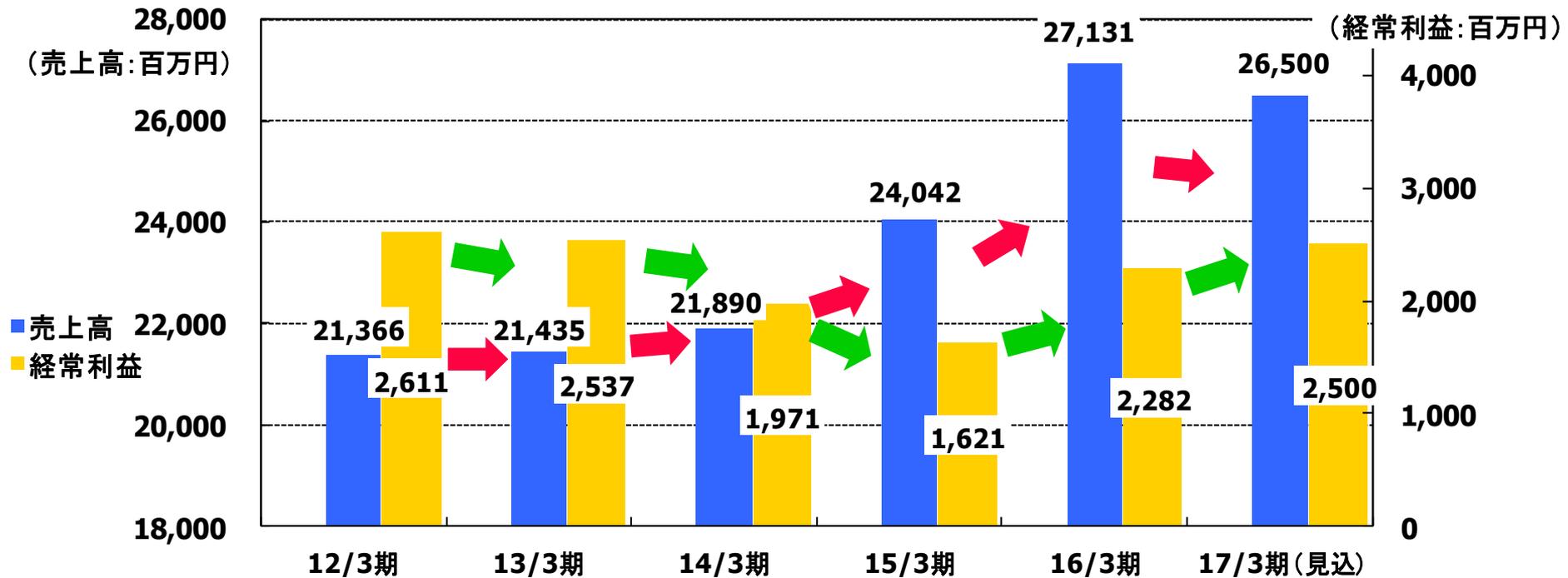
原価計上レート¥/\$ 122円  
 決済レート¥/\$ 117円

108円  
 117円

※ 金額は表示単位未満切捨て。

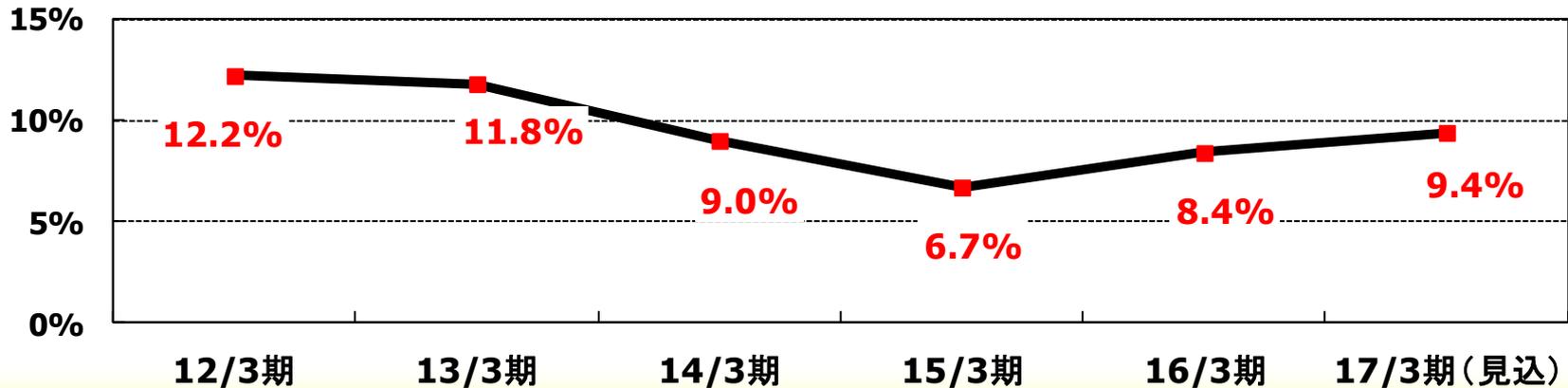


# 2017年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移



※金額は表示単位未満切捨て。

■ 経常利益率





# 貸借対照表

(単位:百万円)	16年3月期 期末	構成比 (%)	17年3月期 第2四半期末	構成比 (%)	前期末比	
					増減金額	増減率
資 産						
■流動資産	19,532	73.0	19,418	70.9	△113	△0.5%
■固定資産	7,216	27.0	7,952	29.1	735	10.1%
資 産 合 計	<b>26,749</b>	<b>100.0</b>	<b>27,371</b>	<b>100.0</b>	<b>622</b>	<b>2.3%</b>
負 債						
■流動負債	4,456	16.7	4,535	16.5	78	1.7%
■固定負債	861	3.2	892	3.3	30	3.5%
負 債 合 計	<b>5,318</b>	<b>19.9</b>	<b>5,427</b>	<b>19.8</b>	<b>109</b>	<b>2.0%</b>
純 資 産 合 計	<b>21,430</b>	<b>80.1</b>	<b>21,943</b>	<b>80.2</b>	<b>512</b>	<b>2.3%</b>
負債・純資産合計	<b>26,749</b>	<b>100.0</b>	<b>27,371</b>	<b>100.0</b>	<b>622</b>	<b>2.3%</b>

※ 金額は表示単位未満切捨て。



## **3. 2017年3月期 事業計画**



# 16/3期比較の17/3月期 事業計画

(単位: 百万円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	27,131 <small>〔ごま油 21,576 食品ごま 4,773 脱脂ごま他 781〕</small>	26,500 <small>〔ごま油 21,100 食品ごま 4,700 脱脂ごま他 700〕</small>	△631 <small>〔ごま油 △476 食品ごま △73 脱脂ごま他 △81〕</small>	△2.3%	<b>&lt;売上高減 約6億円&gt;</b> <b>(NET約7億円)</b> 家庭用ごま油:約4億円増 業務用ごま油:約3億円減 輸出用ごま油:約5億円減 食品ごま他:約2億円減
営業利益 〈利益率〉	1,570 〈5.8%〉	2,500 〈9.4%〉	930	59.2%	<b>&lt;売上原価減 約21億円&gt;</b>
経常利益 〈利益率〉	2,282 〈8.4%〉	2,500 〈9.4%〉	218	9.6%	<b>&lt;営業利益増 約9億円&gt;</b>
当期純利益 〈利益率〉	1,436 〈5.3%〉	1,670 〈6.3%〉	234	16.3%	

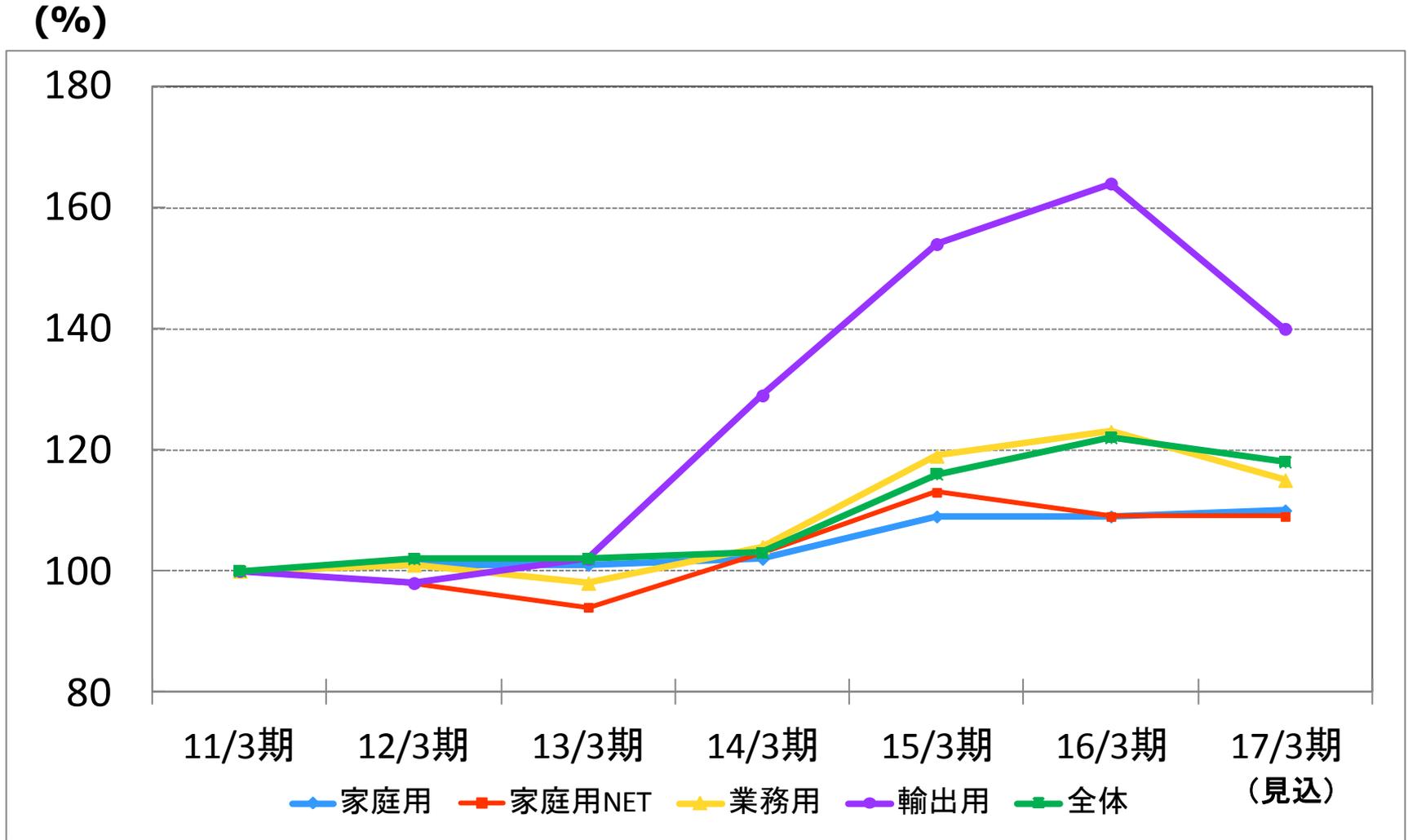
下期想定為替レート¥/\$ 105円

為替レート1円変動による損益への影響額 約9百万円

※ 金額は表示単位未満切捨て。



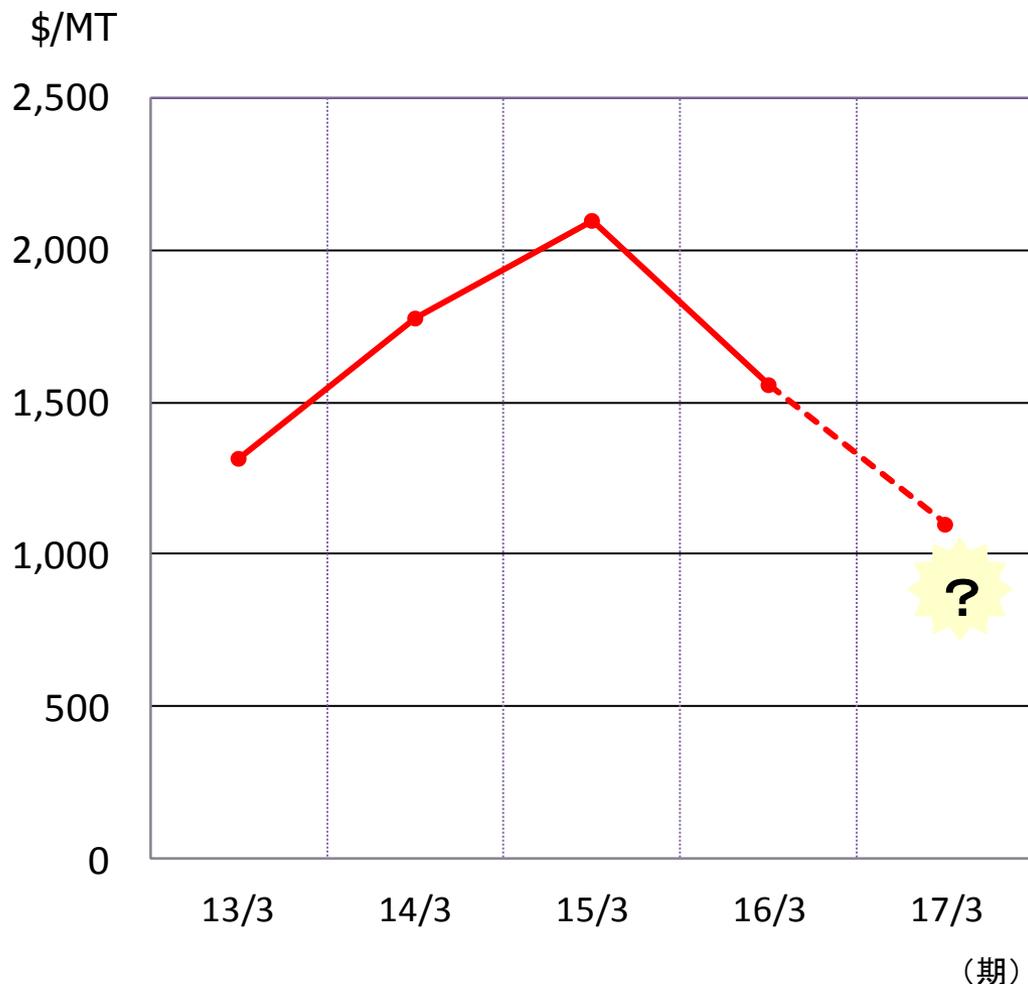
# ごま油平均単価の推移



※2011年3月期の価格を100とする。



# 搾油用原料価格の動向(年度平均)



出所:財務省輸入通関統計  
主要搾油用ごま産地

ナイジェリア、ブルキナファソ、タンザニア、ウガンダ、モザンビーク

## <2017年3月期の見通し>

(契約時ベースの価格)

昨期はアフリカの主要生産国で前年以上の収穫に恵まれた。このため、15年3月期に2,000ドル/トンのレンジだった到着平均価格は、下落の一途をたどり、16年3月期には1,500ドル/トン程度まで下がった。

今期は、昨期の増産の影響で、直近の到着平均価格が1,000ドル/トン程度まで下がっている。

一方、期中の相場予測では、中国の輸入量が増加していること、インドの春クロップが減産したことから今期後半から上昇に転じるとされてきた。しかし、今期の東アフリカが微増に終わったことなどから、上期中に契約した下期到着見合いの平均価格は事前予測に反して上げ幅が少なく、1,000~1,200ドル/トン程度のものが輸入されると予想される。

以上の背景から、2017年3月期の平均到着価格は1,200ドル/トン程度を見込んでいる。

また、食品用原料も軟化した価格で買付され、今期到着平均価格は昨期より下がる見込み。

波乱要因 : 中国等の急激な買付  
天候不順による減産  
生産国の政情不安

ごまの恵みを、からだに。



**健康でより豊かな食生活に貢献**



証券コード 2612

**角 かどや 製油株式会社**

**2017年3月期第2四半期 決算説明会**

**経営展望について  
2016年11月1日(火)  
代表取締役社長 小澤 二郎**

# 経営展望について

- (1)販売**
- (2)売上拡大策**
- (3)原料その他**
- (4)経営計画**



# 1. 販売



# 販売(総括、ごま油)

2017年3月期  
上期

家庭用、輸出用で積極的に拡売を行い大きく伸長した。  
業務用は新規獲得や600g製品の拡売で伸長した。

ごま油	家庭用	業務用	輸出用
上期実績	<p>小売店のフォローアップを強化する等、積極的な拡売を実施。</p> <p>また、前年ブームとなったアマニ油・えごま油等健康イメージオイルの代替需要により、販売数量、金額ともに大幅に増加。</p>	<p>適正価格による販売を継続しつつ、新規獲得等で販売数量が増加。</p> <p>また、600g製品のC&amp;C市場での販売が増加した。</p>	<p>6月以降販促を実施したことにより、前年比で数量は大幅に増加。</p> <p>販売金額は、円高等の影響で販売単価が下がるも、数量増でカバーし増加。</p>
前年同期比	販売金額、数量共に増加	販売金額、数量共に増加	販売金額、数量共に増加
下期計画	<p>引き続き積極的な拡売を行う。</p> <p>純白ごま油400gはPET容器にリニューアルし、販売に注力。</p> <p>①チラシ特売、月間特売等の販促強化 ②600g製品の家庭用市場での拡売 ③小売店のフォローアップ強化 ④純白ごま油の拡売</p>	<p>引き続き適正価格での販売に努める。</p> <p>600g製品は丸型PET容器にリニューアルし、積極的に販売を行う。</p> <p>①600g、1650gのポリ製品拡売 ②新規開拓 ③卸店向けキャンペーン実施 ④中食、CVS総菜等への売込強化</p>	<p>引き続き拡売に努め、通期での数量伸長を目指す。</p> <p>①繁忙期における販促実施 ②新規PB商品開発 ③新規加工ユーザー獲得</p>
2016年3月期比(計画)	販売金額、数量共に増加	販売金額は減少 数量は増加	販売金額は減少 数量は増加



# 販売(食品ごま)

2017年3月期  
上期

家庭用は積極拡売、ねりごま新製品の導入により大幅に伸長した。  
業務用も販売数量は増加したが、価格競争激化により販売単価は低下。

食品ごま	家庭用	業務用
上期実績	積極的な拡売、新規獲得により伸長。 ねりごまは、より粒度の細かい品質にリニューアルした商品が高く評価された。	食品白ごま製品、ねりごま製品の拡売により販売数量、金額ともに増加。 白ごまNB製品は原料相場が落ち着いた事から9月より価格改定(値下げ)を実施した。
前年同期比	販売金額、数量 共に増加	販売金額、数量 共に増加
下期計画	食品ごま、ねりごま共に積極拡売し、さらなるシェア拡大を図る。 ①積極拡売、新規導入促進 ②青果やごま油等と合わせた店頭企画の実施、メニュー提案、販促物の活用	引き続き適正価格での拡売に努める。 ねりごま製品の売り込みを強化し、積極的に拡売する。 ①加エユーザー向けにねりごま製品のサンプルワーク強化 ②中食市場、CVS総菜への売り込み強化
2016年3月期比 (計画)	販売金額、数量 共に増加	販売金額は減少 数量は増加



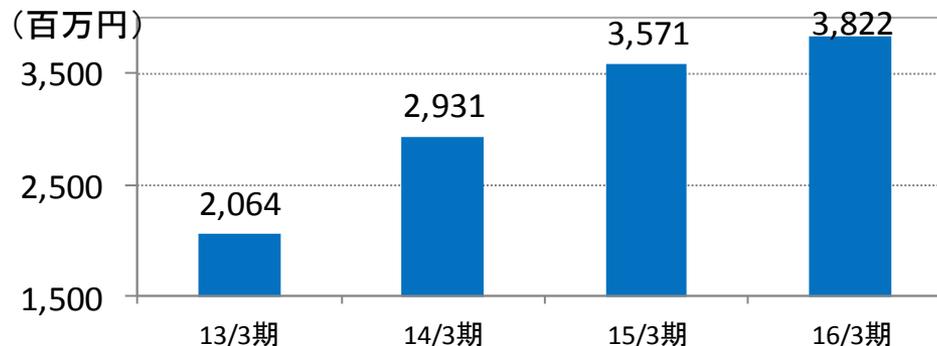
# 販売(輸出用ごま油)

## 販売実績

2017年3月期 第2四半期  
販売数量 約2,700t

6月より断続的に販促を実施したこと等が功を奏し、上期販売数量は前年同期比で大きく伸長した。

## 輸出用ごま油 販売金額推移



## 輸出分野での施策

- ① 既存顧客への拡販
  - ・主要市場の北米では、繁忙期に販促を実施することにより安定的な伸長を図る
  - ・欧州・オセアニア・アジアでの営業活動を強化し、輸出数量の拡大を目指す
- ② 新規案件の獲得
  - ・海外展示会へ積極的に出展し、商品啓蒙活動・新規案件獲得を図る
  - ・冷凍食品やドレッシングメーカーといった、加工ユーザー向け新規提案を強化する
  - ・2016年4月ハラール認証を取得し拡販を図る
  - ・コーシャ、ハラール認証を活用した新規販路の開拓



## 2.売上拡大策



# 売上拡大策（情報訴求・PR活動）

## ・YouTube公式チャンネル

- ・YouTubeユーザー（若年層）の目線をより意識したエンターテインメント性があり、短い時間で視聴できる料理動画の第2弾、「アニマルBAR」を制作
- ・若い世代の食生活シーンの中で、無理なく気軽に使用でき、チャレンジしやすい使い方を提案し、当社商品の利用価値を訴求
- ・将来の当社ファンを育成、新規顧客獲得の両方をとらえることを目的に実施
- ・若い世代を中心にかどや製油の認知拡大、ごま製品のブランド醸成、ごま製品を使用する機会を増やしてもらうことを図る



## ・一般（成人）料理教室を開催

- ・著名な料理人を起用し、ごま油や食品ごまを使った料理レクチャーを通じ、使い方の啓蒙、ごまの栄養、良さを薦めることで、認知度の向上を図る。
- ・実際に当社製品を使い美味しい料理を作ること、既存顧客の育成、新規顧客の獲得を目指す。





# 売上拡大策（広告活動一例）

## ・純正ごま油・らー油・食品ごま・ねりごまの各媒体広告施策

- ・食生活における当社商品の利用価値を、多様性をもって訴求（メニュー・用途提案）
- ・料理雑誌、WEBサイト、SNS、YouTube、業界誌を中心に企業広告を出稿
- ・著名な料理人や管理栄養士、人気YouTuberを起用したタイアップ企画広告、バナー広告等を出稿
- ・子どもの視点で楽しく読めて、学べる小学生向けの新聞に出稿

### 【読売KODOMO新聞】

- ・「ごま」について3回に分けて掲載
- ・次世代を担う子どもたちに「食」と「ごま」への関心を高めてもらう

### 第1回「世界の文明とゴマの関係」

**自由研究をたすける** 自由研究をたすける

**ごまのはじまり**  
ごまの原産地は、中国の山東省に由来しています。約4000年前から栽培されていたと推定されています。その歴史は古く、4000年前から栽培されていたと推定されています。

**日本にきたごま**  
ごまは、白米と同様に古代中国から日本に伝わったとされています。その歴史は古く、4000年前から栽培されていたと推定されています。

**第1回 世界の文明とゴマの関係**  
日本人の食生活になじみ深いごまは、その歴史が古く、4000年前から栽培されていたと推定されています。

**世界の文明とごま**

- メソポタミア**：古代文明の中心地。ごまは、その土地で栽培されていたと推定されています。
- 古代エジプト**：ごまは、その土地で栽培されていたと推定されています。
- インド**：ごまは、その土地で栽培されていたと推定されています。
- 中国**：ごまは、その土地で栽培されていたと推定されています。

**世界のごま料理**

- トルコ料理 (ドネル)**：ごまを効率的に調理する方法。
- フランス料理 (タルト)**：ごまを効率的に調理する方法。
- 和食 (ごま油)**：ごまを効率的に調理する方法。

**ごまの健康に役立つ**

- 1. 腸を健康にする
- 2. 皮膚を健康にする
- 3. 髪を健康にする

**ごまの原産地は、アフリカのごま**

**ごまクイズ**  
ごまの花が落ちて30-40日、種と何ができる？

### 第2回「ごま食品ができるまで」

**自由研究をたすける** 自由研究をたすける

**ごまができるまで**  
約4000年前から栽培されているごまは、その歴史が古く、4000年前から栽培されていたと推定されています。

**ごまの種類**

- 白ごま**：白く、油分が多い。
- 黒ごま**：黒く、油分が多い。
- 赤ごま**：赤く、油分が多い。
- 黄ごま**：黄く、油分が多い。

**ごまを使った食品**

- ごま油
- ごま豆腐
- ごま油揚げ
- ごま油豆腐
- ごま油揚げ
- ごま油豆腐

**なぜ「開けごま」なの？**  
「開けごま」は、ごまの殻を砕いて、油を抽出したものです。

**「開けごま」を使って料理にチャレンジ!**  
油そばそうめん

**ごまクイズ**  
ごまの花が落ちて30-40日、種と何ができる？

### 第3回「ごまの栄養について」

**自由研究をたすける** 自由研究をたすける

**第3回 ごまの栄養について**  
ごまは、栄養豊富な食品です。その歴史が古く、4000年前から栽培されていたと推定されています。

**必要な5大栄養素**

- たんぱく質
- 脂質
- 糖質
- ビタミン
- ミネラル

**ごまの栄養成分**

- たんぱく質 18.5%
- 脂質 54.2%
- 糖質 1.6%
- ビタミン 0.3%
- ミネラル 0.3%

**おさじ2杯190ccでとれるいりごまの栄養**

- たんぱく質 1.8g
- 脂質 10.2g
- 糖質 0.3g
- ビタミン 0.03g
- ミネラル 0.03g

**ごまミイラの永久保存にごま油**

**「開けごま」を使って料理にチャレンジ!**  
おひごまシュークリーム

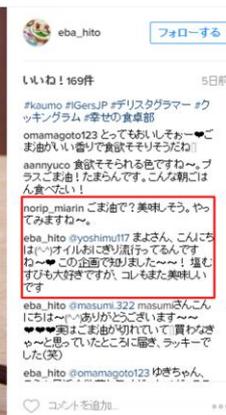
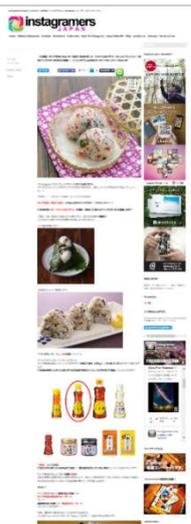
**ごまクイズ**  
ごまが一番多く含まれる、栄養成分はなに？



# 売上拡大策 (広告・PR活動 一例)

## 【 Instagram 】

- ・ Instagram Japanメンバーに「純正ごま油」を提供。「#オイルおにぎり」をテーマにInstagramに投稿したときに映える写真を投稿
- ・ 純正ごま油を生で利用する用途を写真・コメントにて紹介し、Instagram上に拡散、話題喚起を図る



## 【 YouTuber 】

- ・ 若手人気YouTuber「K's Kitchen(Kudo Shota)」を通してごま製品の使い方を紹介
- ・ 料理経験ゼロのK's Kitchenが日々の料理を通して少しずつ料理上手な人間を目指すチャンネル
- ・ ごま製品に触れる機会が殆どなく、使い方も分からない若い世代に手軽に使えることを訴求し、利用促進、認知拡大
- ・ 純正ごま油、ごまら一油は「和え物」、「下味」、「仕上げ」といった、調味料油としての使い方、ちょい足しを提案





# 売上拡大策(商品展開)

## 2016年上期に発売した 新商品・リニューアル商品

### <純白ごま油PET 400g 新発売>

2016年7月より生産開始

「純正ごま油PET400g」は、「軽い・割れない・捨て易い」等の理由から、高評価を得ております。重くて、割れる恐れがあり、捨て難い瓶に不満を持つ顧客の満足度向上を目的に「純白ごま油400g」のPET化を実施致しました。

瓶製品時重量 …718g / PET製品時重量…445g(約40%の軽量化)



### <スパウト容器ねりごま1kg/300g製品のリニューアル>

2016年5月より生産開始

容器の自立性、中身出し口の詰まり等の顧客不満を改善するため、容器の変更を実施致しました。自立性は、商品側面に空気が入った包材(エアホールドパウチ)を採用して改善し、中身出し口の詰まりは、キャップ口径を大きくする改良を実施致しました。



匠の味ねりごま白  
8月初回生産



匠の味ねりごま黒  
9月初回生産



皮つきねりごま  
9月初回生産



ねりごま白濃煎1kg  
5月初回生産



# コラボレーション商品

広告宣伝効果が大きく、当社ブランドの醸成にとって重要なラインナップ。

## ＜株式会社ローソンストア100＞

オイルおにぎりシリーズを中心とした米飯商品でのコラボを本年7月より展開しております。  
1アイテムの販売期間は1ヵ月～1.5ヶ月程度で、「かどやの金印純正ごま油」を使用したごま油風味をお楽しみ頂ける商品を随時展開していく予定となっております。

### ■過去販売商品と今後の販売予定品

- ①7月13日発売 ビッグおにぎり うめおかか味／わかめたまご味(販売終了)
- ②8月16日発売 ビッグおにぎり ひじき煮(販売終了)
- ③9月14日発売 ビッグおにぎり 鶏金平(販売終了)
- ④10月5日発売 大盛チャーハン(発売中)
- ⑤10月12日発売 高菜たまご味(発売中)
- ⑥11月9日発売 ごまさけ味(発売予定)



## ＜カルビー株式会社＞たくみ

商品名 : かつぱえびせん匠海 かどやのごま油仕立て

発売時期 : 2016年10月13日 中四国地区先行発売

2016年10月17日 全国発売

販売エリア : 中四国地区のSA(高速道路サービスエリア)、デパート、お土産屋及び、

全国10カ所にあるカルビープラス(直営店)

■「かつぱえびせん匠海 かどやのごま油仕立て」の3つのこだわり

瀬戸内海の天然エビ使用。藻塩を使用。香りづけに「かどやのごま油」を使用。

選び抜かれた原料を使用した商品となっております。





# 売上拡大策 (通信販売限定商品)

## <かどやのごまセサミン>

ごま専門メーカーのかどやが作ったセサミン。  
ごま油、食品ごまに続く当社の第三の柱としていく。

## <黒ごま&オリゴ>

ねりごまにオリゴ糖・はちみつ・黒糖の上品な甘味を加えた商品。  
安定的なファンを獲得している。



## 2017年3月期上期実績、及び2017年3月期下期施策

### ①2017年3月期上期実績

顧客サポート体制の更なる充実とお客様満足度の向上を図る一方、「ごまセサミン」を中心に広告販促施策を展開。インターネット、新聞広告等を中心にメディアバランスの最適化を推進した結果、売上、定期購入コース加入者数共に、前年同期を上回り安定的に伸長。尚、通販限定商品として、小豆島で栽培した唐辛子を使用し、当社厳選のごま油に、香ばしいにんにく、えび、ちりめんなどの海鮮食材を加えた香り豊かな贅沢なごまラー油を発売するなど、新商品の販売にも力を注いでいる。



2016年7月新発売  
手摘み唐辛子 焙煎ごまラー油

### ②2017年3月期下期施策

引き続き、インターネット広告、新聞広告等を中心に広告販促を実施していく。更なる商品認知度の向上と購入機会を創出し、お客様満足度向上に努める。また、通販限定商品として、粒子の細かい当社特別製法のねりごまを使用した「黒胡麻プリン」を発売。厳選の黒ごまと優しい甘さの和三盆を使用し、香り高く、なめらかで濃厚なプリンに仕上がっている。



2016年10月発売  
黒胡麻プリン





### 3. 原料その他



# 原料の安定調達

## 現 状

- ① ごま種子の生産 — 全世界の生産量は横這い。  
2015/2016年度生産量：約451万トン(出典:Oil World)  
生産国で天候異変・農薬問題等のリスクが発生しやすい
- ② ごま種子の需要 — 需要の強い中国並びに中東の動向が注視される。

**世界的に需要の増加傾向が続くが、現状賄えない量ではない**

## 調達方針

### 高品質の原料を安定的に調達

商社の強力な情報チャンネルを元に、アフリカ、南米、ミャンマーをはじめとする現地輸出業者との取り組みを強化し、調達先の多様化も進める。



# 食の安心・安全について

## 背景

1. 食品自体の安全性に関する問題（例：異物混入、残留農薬）
2. 食品会社のモラル・コンプライアンスに関する問題（例：偽装表示）

## 当社の方針・施策

- ① **FSSC22000認証取得（2015年9月6日）**  
原料から最終製品まで一貫した食品安全・品質管理体制の強化
- ② 原料ロット毎の残留農薬分析の実施（自社検査機能の強化と公的検査機関の活用）
- ③ 全従業員へのコンプライアンスの徹底（食品表示法・食品衛生法への対応）
- ④ 工場のフードディフェンス強化
  - ・工場セキュリティーへの対応（工場内外への監視カメラの設置、業者・訪問者の入場管理の徹底）
  - ・薬剤の施錠管理・数量管理の徹底。

消費者の皆様に安心・安全なごま製品を提供できるよう、

常に品質向上を図ることにより、売上拡大に繋げる

### ＜食品表示について＞

2015年4月1日より新たな食品表示法が施行され、栄養成分表示の義務化、製造所固有記号の変更等新たな表示制度が創設されました。当社では、新ルールへの対応を進め、コンプライアンスの遵守・徹底に努めて参ります。



## 4. 経営計画



# 中期経営計画(前提、計画数値)

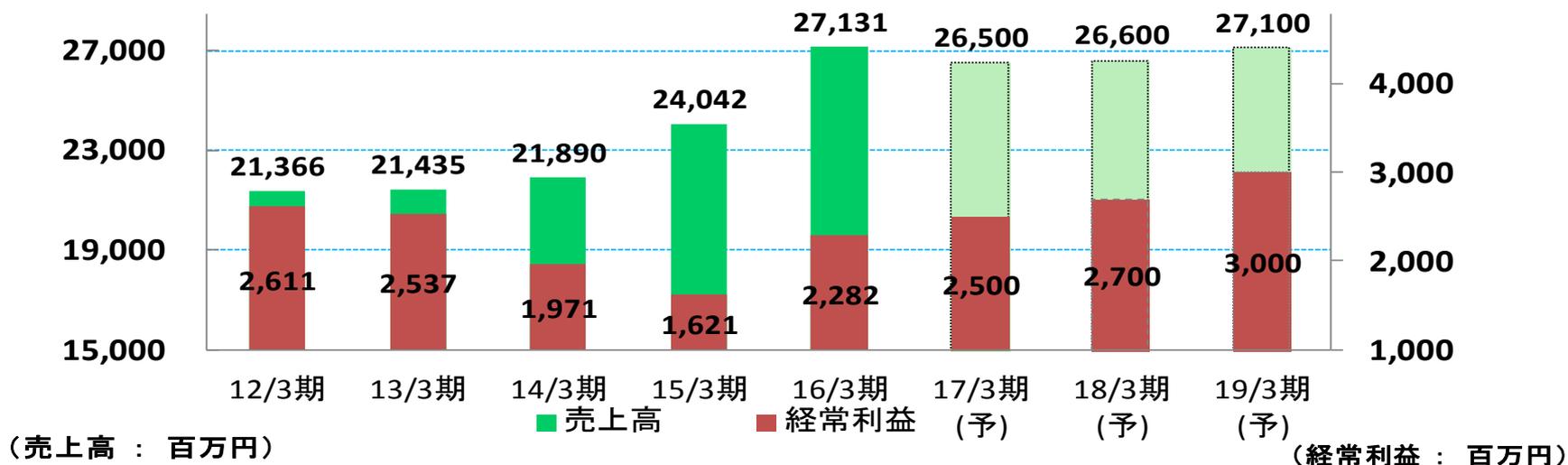
## 前提

- ① 為替：115円
- ② 原料価格：上昇基調
- ③ 製品価格：ごま油、食品ごま業務用下期より値下げ要請見込む

〈2016年3月作成〉

## 中期経営計画

(単位： 百万円)	16/3期実績	17/3期	18/3期	19/3期
売上高	27,131	26,500	26,600	27,100
経常利益	2,282	2,500	2,700	3,000
経常利益率	8.4%	9.4%	10.1%	11.0%





# 今後の課題と配当性向

## 今後の課題

- ① 商品開発力を強化する
- ② 原料調達ルートを多様化する
- ③ 小豆島工場のリニューアル工事を行う

## 配当性向

**2007年3月期より、業績に連動させた配当に変更。**

**配当性向の目標は、当期純利益の40%を目処とする。**

**但し、業績に関わらず、**

**1株当たり20円以上の配当を継続して行えるよう努力。**

**2017年3月期の期末配当金は、1株当たり70円の予定。**



## ※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

### 【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

取締役常務執行役員管理本部長 戸倉 章博

URL <http://www.kadoya.com/>

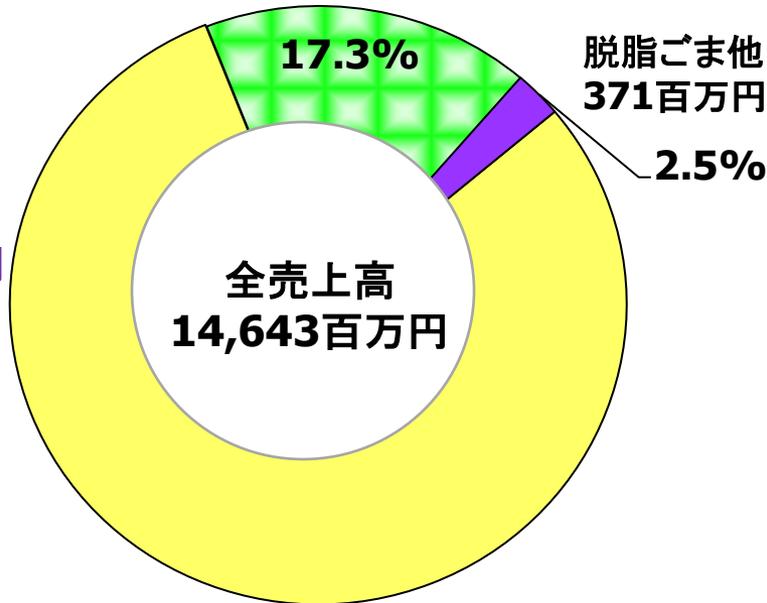


# 付 属 資 料



# 商品別、用途別売上高 (2017年3月期第2四半期)

食品ごま 2,533百万円



ごま油  
11,739百万円  
80.2%

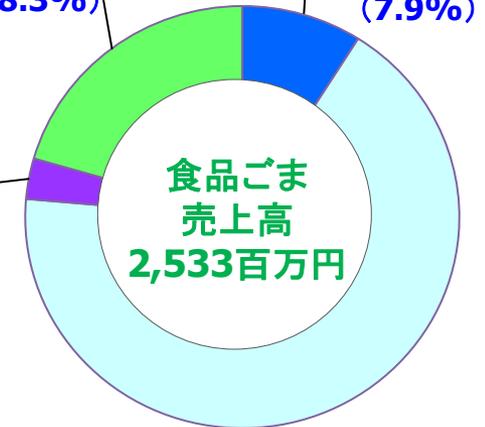


業務用ねりごま  
520百万円



家庭用食品ごま  
227百万円

20.5%  
(18.3%)  
家庭用ねりごま  
79百万円



3.1%  
(3.1%)

食品ごま  
売上高  
2,533百万円

業務用食品ごま  
1,706百万円

輸出用 1,932百万円

16.5%  
(17.1%)

家庭用  
5,617百万円

47.8%  
(45.6%)

ごま油売上高  
11,739百万円

業務用  
4,189百万円

35.7%  
(37.3%)



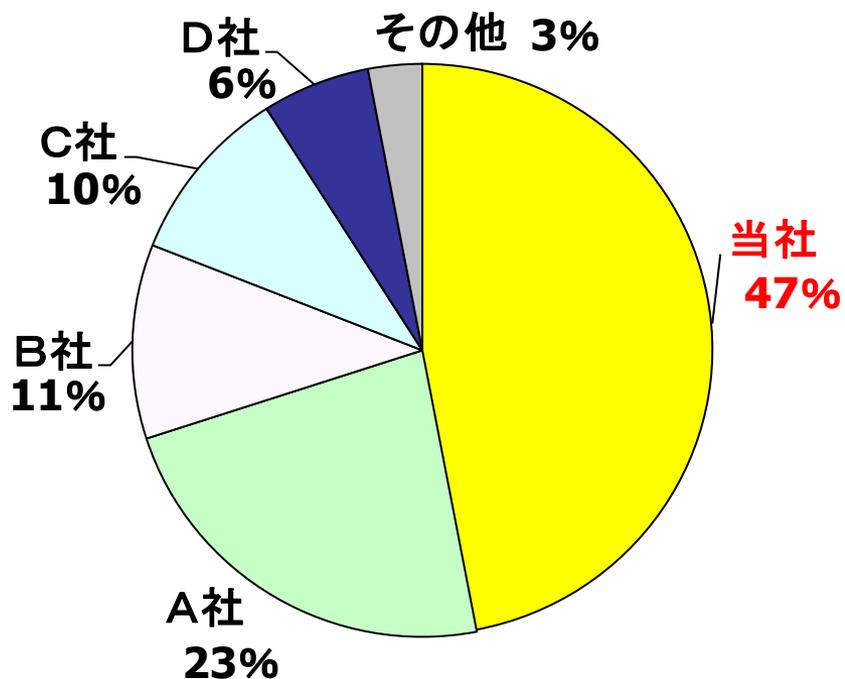
※カッコ内は前年同期の値。



# シェア状況

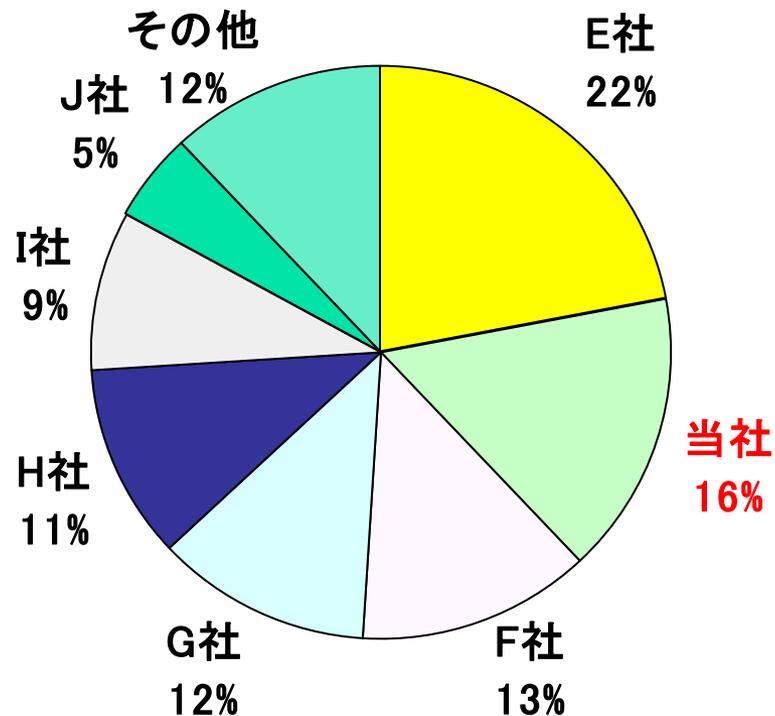
ごま油(2015年1~12月売上高)

市場規模: 約370億円



食品ごま(2015年1~12月売上高)

市場規模: 約300億円



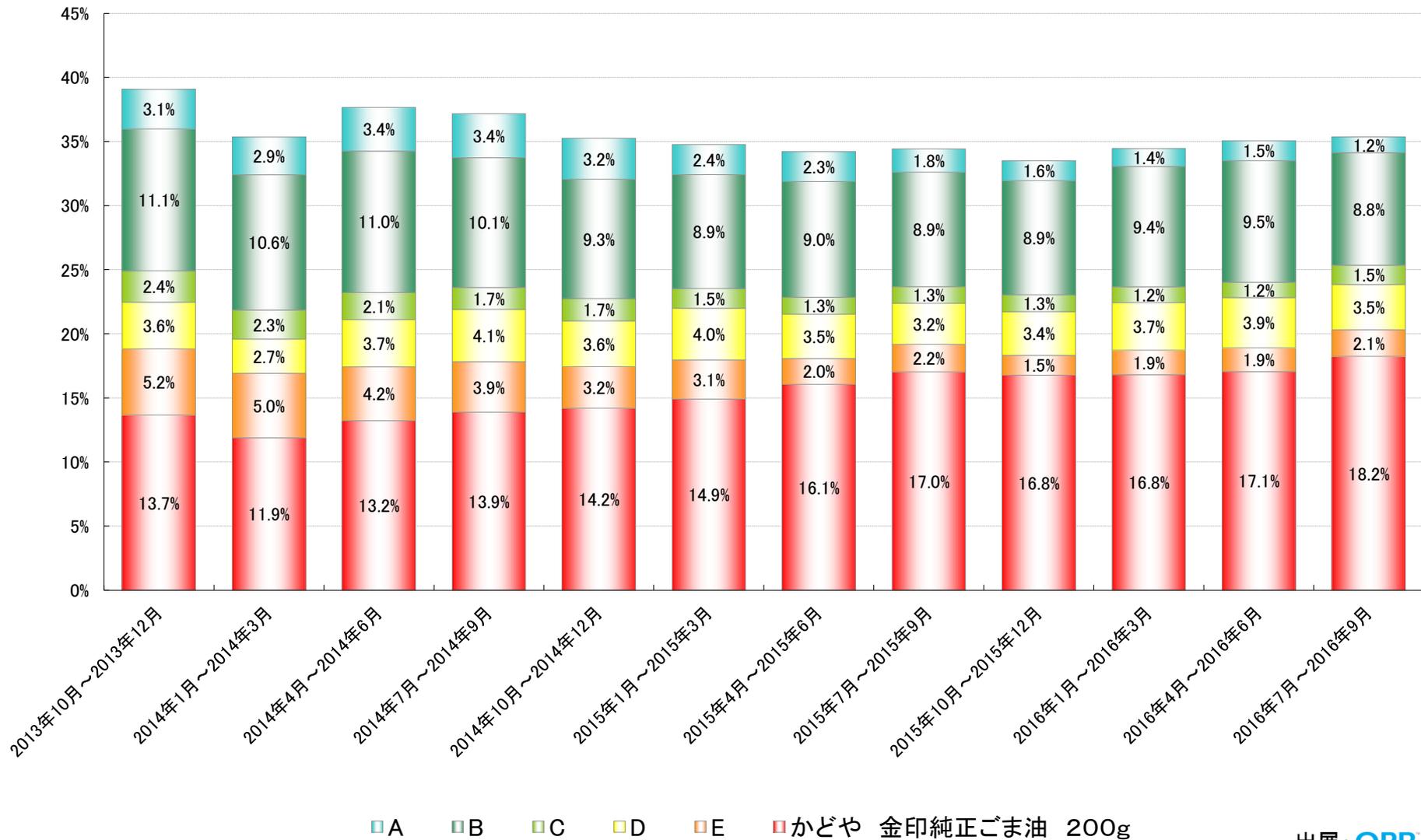
上記数値は【(株)富士経済】調査による



# ごま油主要品\*金額シェア推移

\*「かどや金印純正ごま油200g」及び同容量帯のNB商品上位5ブランド

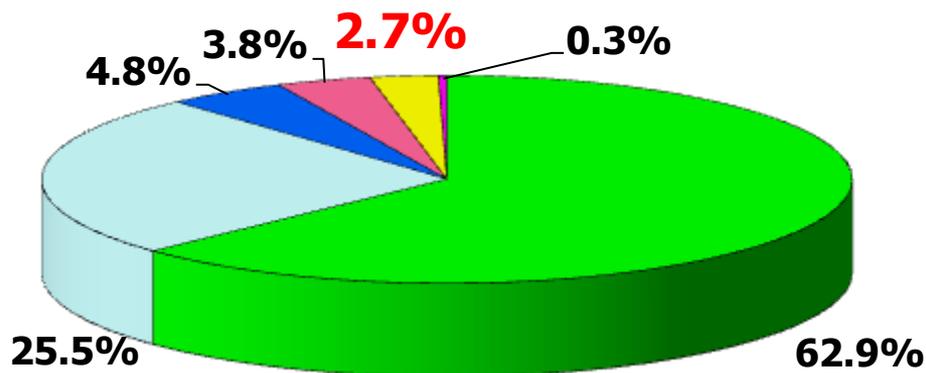
## ＜ごま油市場全体に占める購入金額シェア＞



出展: OPR



# わが国の油糧(可食油)生産量実績



2015年(1~12月)生産量  
1,693,307トン

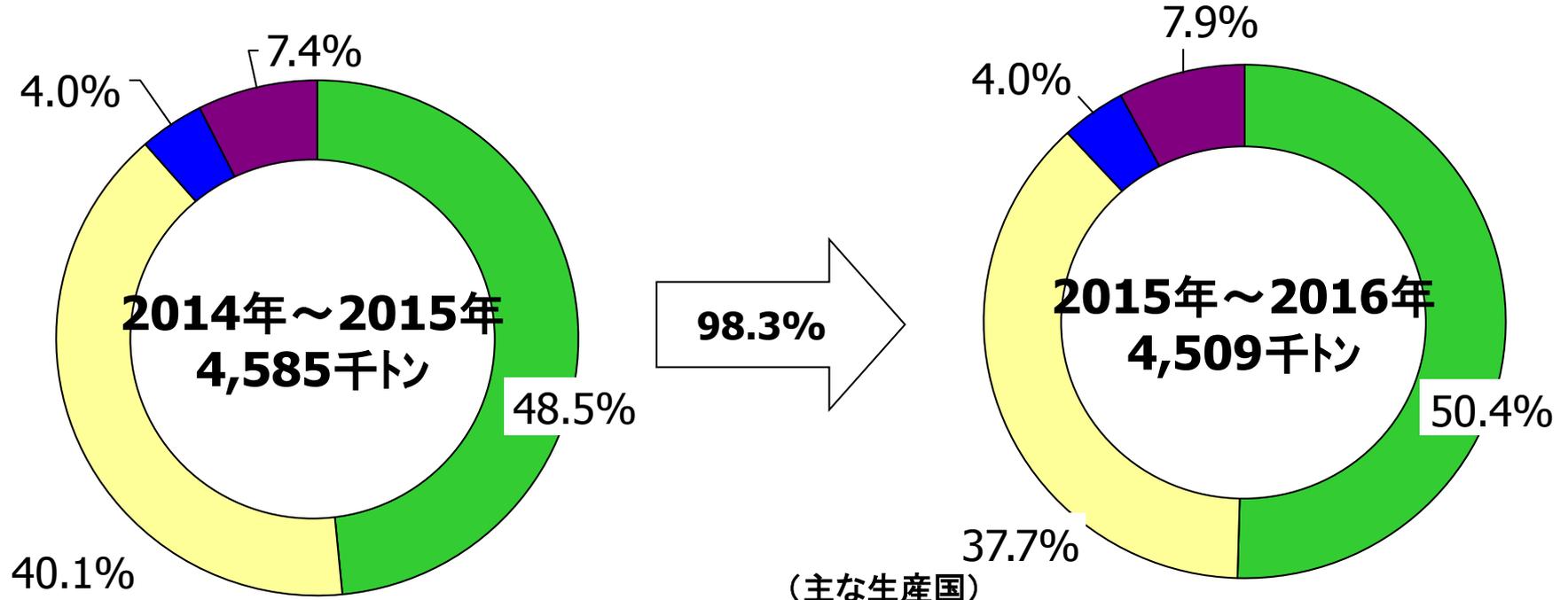
	2005年 (数量:トン)	2015年 (数量:トン)	増 減 (数量:トン)	比 率 (比 率)
■ 菜種	932,160	1,064,506	132,346	14.2 %
□ 大豆	575,302	431,884	△143,418	△24.9 %
■ とうもろこし	95,982	81,278	△14,704	△15.3 %
■ 米ぬか	60,008	64,018	4,010	6.7 %
■ ごま	43,562	45,941	2,379	5.5 %
■ その他	7,159	5,680	△1,479	△20.7 %
	1,714,173	1,693,307	△20,866	△1.2 %

資料: 農林水産省作成

「油糧生産実績表」



# 世界のごま種子生産量



(主な生産国)

単位: 千トン	2014-2015年	2015-2016年	増 減
インド	750	730	△20
ミャンマー	665	670	15
中国	560	630	70
タンザニア	460	470	10
スーダン	310	220	△90
エチオピア	289	310	21
ナイジェリア	170	170	0

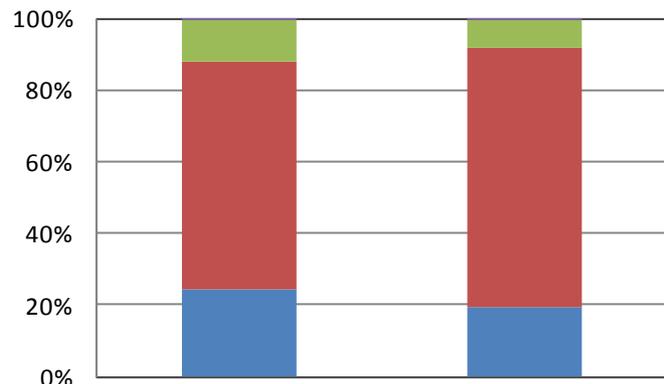
資料: Oil World Annual 2015

※ 生産量の数値は、9月から翌年8月までを1年として集計されたものです。



# わが国のごま種子輸入実績

全国



2014年  
【168,223トン】

2015年  
【184,706トン】

■ 中国

0.6%

0.6%

■ 他アジア・中東

9.8%

(ミャンマー・トルコ他)

7.5%

(ミャンマー・パキスタン他)

■ アフリカ

70.0%

(ナイジェリア・タンザニア他)

72.5%

(ナイジェリア・タンザニア他)

■ 南北アメリカ

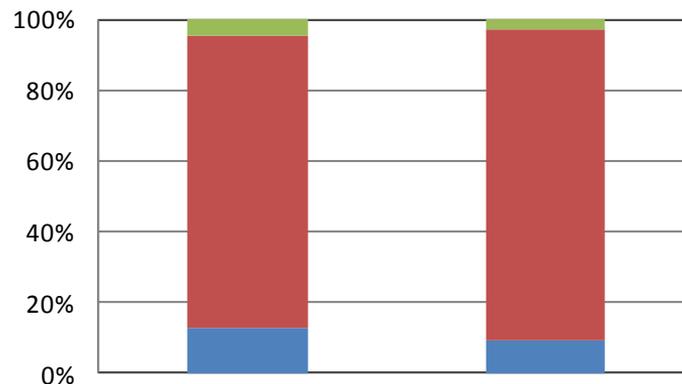
19.6%

(パラグアイ・グアテマラ他)

19.4%

(パラグアイ・グアテマラ他)

当社



2014年  
【55,419トン】

2015年  
【71,588トン】

■ 中国

0%

0%

■ アジア

4.4%

(ミャンマー・ベトナム他)

2.9%

(ミャンマー・ベトナム他)

■ アフリカ

82.6%

87.6%

■ 南北アメリカ

13.0%

(パラグアイ・アメリカ他)

9.5%

(パラグアイ・メキシコ他)

資料:財務省通関統計